

關東平原、  
原平原(新潟  
縣)、石狩平原

上川地方

上川支廳は石  
狩川及び天鹽  
川兩流域の上  
部を管す

空知支廳は石  
狩川の中部  
(石狩國)を管  
す

札幌支廳は石  
狩川の下部な  
る石狩國(札  
幌を除く)を  
管す

章 五 第

なす。幌内は我國屈指の炭山にして、日本海斜面及び大平洋斜面の港まで鐵道を通じて石炭を輸送す、炭山よりの鐵道と兩斜面よりの鐵道と上川地方への鐵道と相交叉する處に岩見澤あり、開墾地の中心市場にして空知支廳あり。江別川の合流點以下は、石狩川灌域の下部にして、北海道拓殖の主腦たり、大支流豊平川の所在は、地廣く土肥え、水利に便なり、札幌此處にありて、北海道廳、札幌支廳、第七師團司令部、札幌農學校等あり、街衢の井然たるは京都に優り、新氣象あるはアメリカの新開地に似たり、四



日本帝國地方誌 北區 北海道本地

且つ大支流多ければ、灌域廣くして我國三平原の一たる石狩平原を開き、土肥え、灌漑便に、北海道開墾の中心となる、地勢に依り此の大灌域を上部、中部、及び下部の三に分つ。神威古潭の激流以上は、石狩川灌域の上部たる上川地方に



して、北は天鹽平原に入り、南は十勝平原に入る交叉點に旭川あり、上川平原の市場にして、上川支廳あり。神威古潭以下、江別川の合流點までを石狩川灌域の中部と

して、山脈の間には肥沃なる高原を開き、天府の稱あり、第七師團(舊屯田兵)の兵營は此間に配置し、離宮は形勝の處に指定せらる、日本海斜面及び大平洋斜面より來る鐵道の分岐

後志國

近は麻、麥及び甜菜を栽培し、麻布、麥酒及び砂糖を産す。石狩川灌域及び炭山地方より來る鐵道の終點に當りて、日

本海に突出するは

高島岬なり、岬の下

風を遮ぎり、水深く、

鯨及び鱈の群來す

る處に小樽港あり、

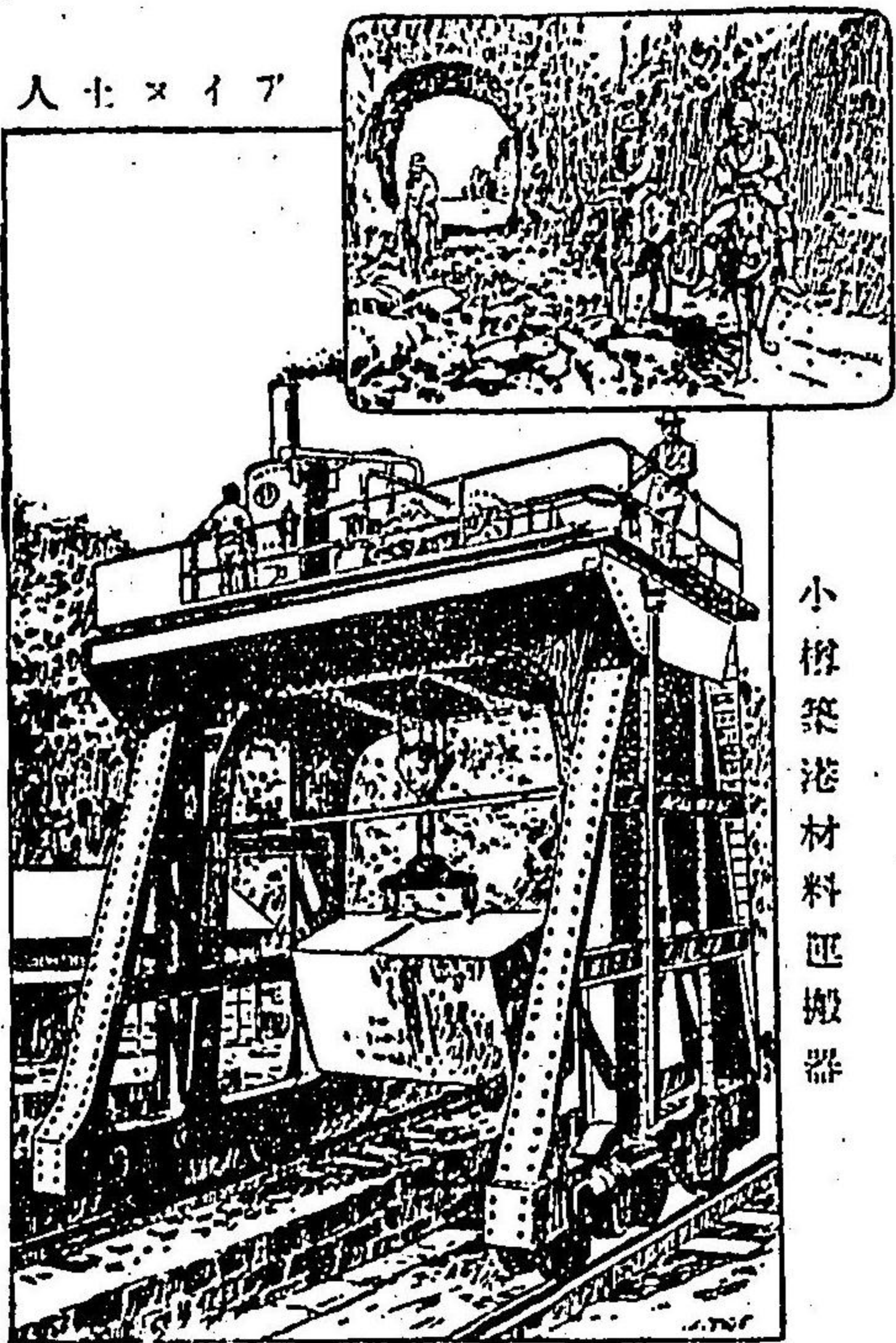
石狩平原の門戸を

なし、石炭、農産物及

び海産物を輸出し、

高島岬以西、積丹岬

の間は鯨漁盛んなり。



小樽築港材料運搬器

人七ノイア

..... 章 五 第 .....

小樽支廳は後志國の北部(小樽區を除く)を管す

岩内支廳は後志國の西北部を管す

檜山支廳は渡島國の一部及び後志國の南部を管す

福山支廳は渡島國の南西部を管す

五 第 .....

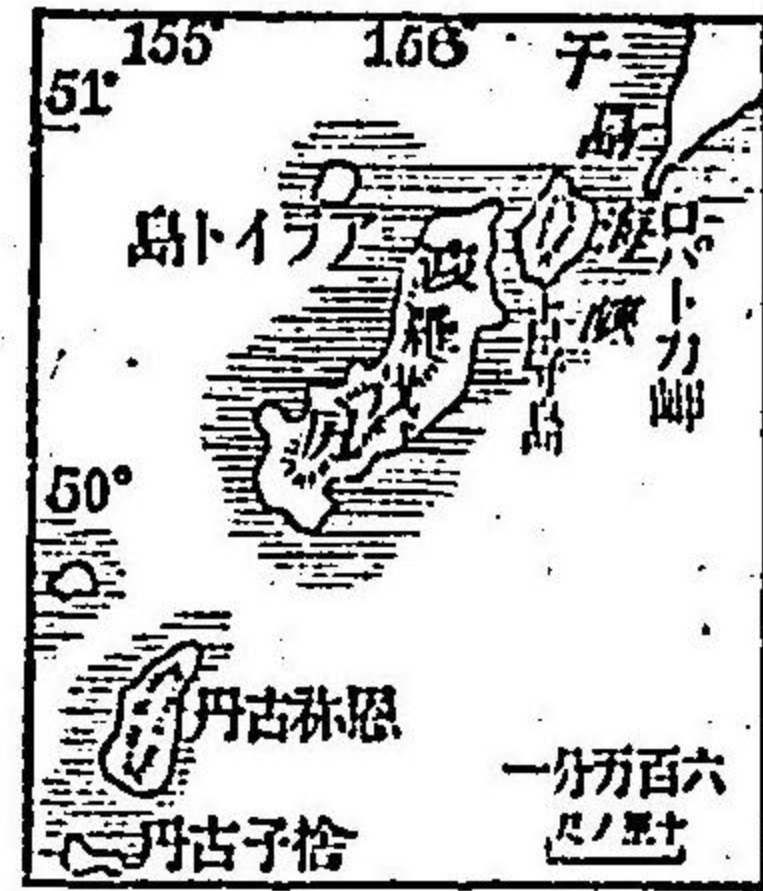
積丹岬以南は山連り、石炭及び硫黃を産し、硫黃山及び石炭山の間は平野にして、開墾地多く、海岸まで開き來り、海岸は、鯨及び鱈漁盛んなり、岩内港此處にありて、岩内支廳あり。岩内より南すれば、後志川の灌域開け、更に南すれば、鯨及び鱈の群來する一港灣あり、壽都は灣上にありて支廳あり。壽都より西すれば、奥尻島を望み、更に西すれば、鯨及び昆布の産多く、其の中心市場なる江差に檜山支廳あり。江差より南すれば、北海道本地の南端白神岬に達す、岬は本州と最も近く相對す、其の傍なる福山は蝦夷を靖定せし、松前氏の舊居城、即ち北海道の舊首都にして、福山支廳あり。

二千嶋 北海道本地の東より北東を指して羅列する三十二の火山島より成り、海岸は斷崖多く、寒流に洗はれ、風強く、

沙那支廳は擇捉島を管す



氣候寒冷にして、樹木少く、海豹多し。列島中、國後は最も本地に近く、擇捉は最大にして、沙那港に沙那支廳あり。擇捉の東北、得撫あり、其の北なるホッスル海峽を以て千島を口千島と奥千島とに分つ。奥千島の阿頼度は帝國の極北、占守は極東にして、ロシア領カムサッカに相對す。



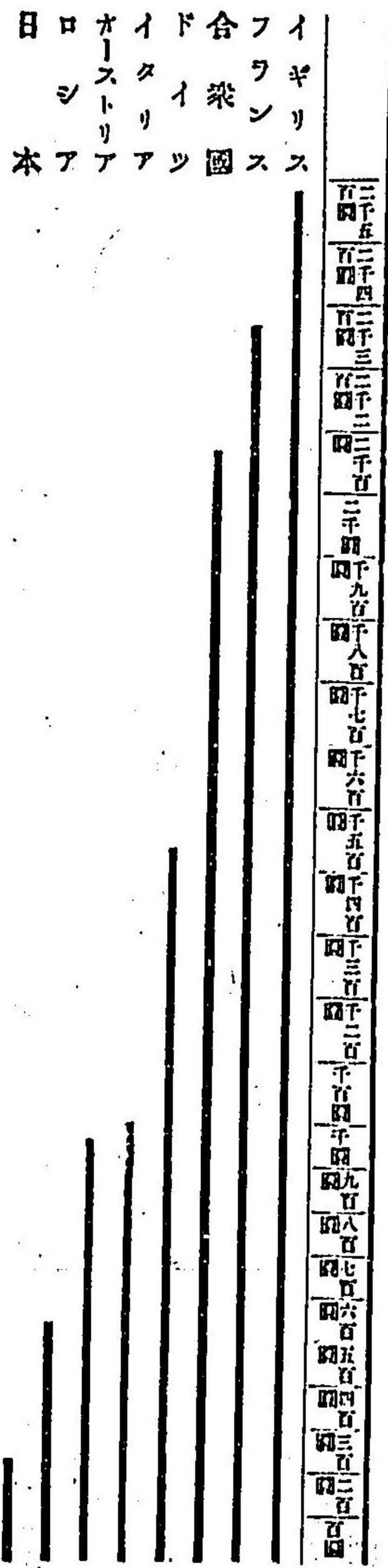
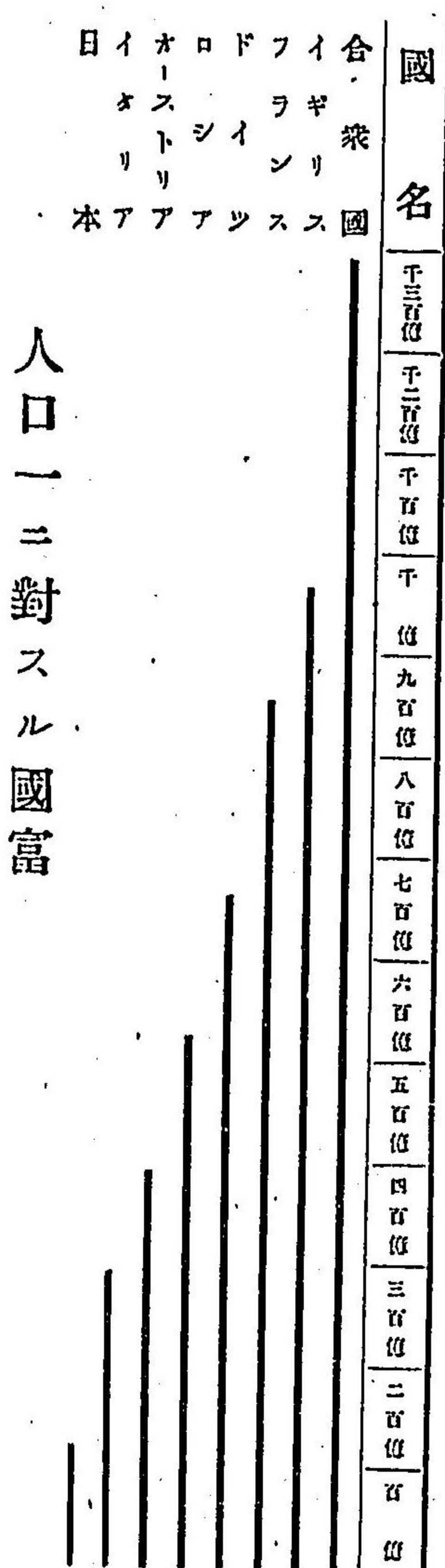
## 第六章 日本帝國地誌 結論

我が日本帝國は、以上説く所の如く、其の大部分は世界の最も溫和なる氣候に居り、兩端は亞寒帶と熱帶とに入るを以て、寒、温、熱三帶の動物、植物を産し、物産の種類多きこと世界に稀なり。礦物も亦乏しからず、即ち製造工業に必要な石炭の産出多し。又國土の地勢急峻なれば、河水も亦急峻にして、電氣の發動及び工業に利用し得べく、以て大に製造工業を興起するに足るべし。加之ならず、動植物の種類は多く、風景も優美に、春花秋葉も亦多様なれば、國民の美術心を喚び起し、美術工藝に巧みならしむ。又海國なるを以て、水産に富み、海味に飢ゑたる四億の支那人は、近く海を隔て

、群居すれば、其の需用益増加すべし。又海岸線の長さことも世界第一に居り、航運及び貿易に最も便利なり。國の位置より見れば、今後人力を以て開發するの最も餘地多きアジア大陸に接し、更に將來世界の運命を支配する大平洋を控え、最も有爲多望の位置にあり、即ちアジア大陸にはシベリア大鐵道成り、大平洋の東には世界の富を致せるアメリカあり、ニカラガ運河亦漸く竣功せんとし、依て以て大西洋及びヨーロッパNICARAGUAと連絡し得べく、又大平洋の南にはオーストラリア大に發達して、南洋無數の諸島の遺利も亦開發されんとし、大平洋電線も敷設せらる。我國は此の如き新鋭なる氣運の交叉點にあるを以て、國民たるもの、發憤して此の氣運に投ぜざるべけんや。

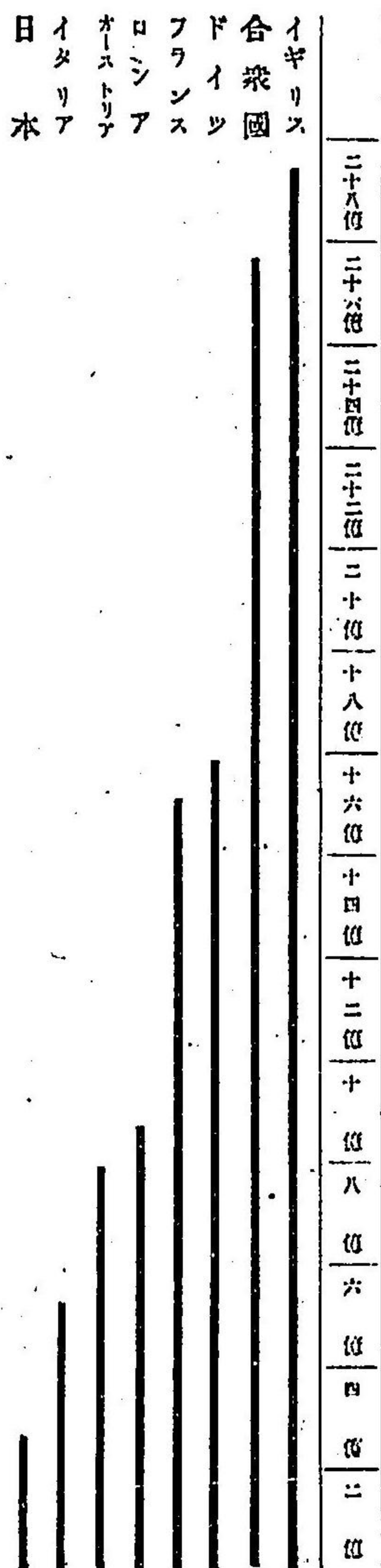
以上の如く我國は有爲多望の間に有と雖も、國勢の如何を顧みれば、世界列國と比較して實に其の最下位にあり、即ち

國 富

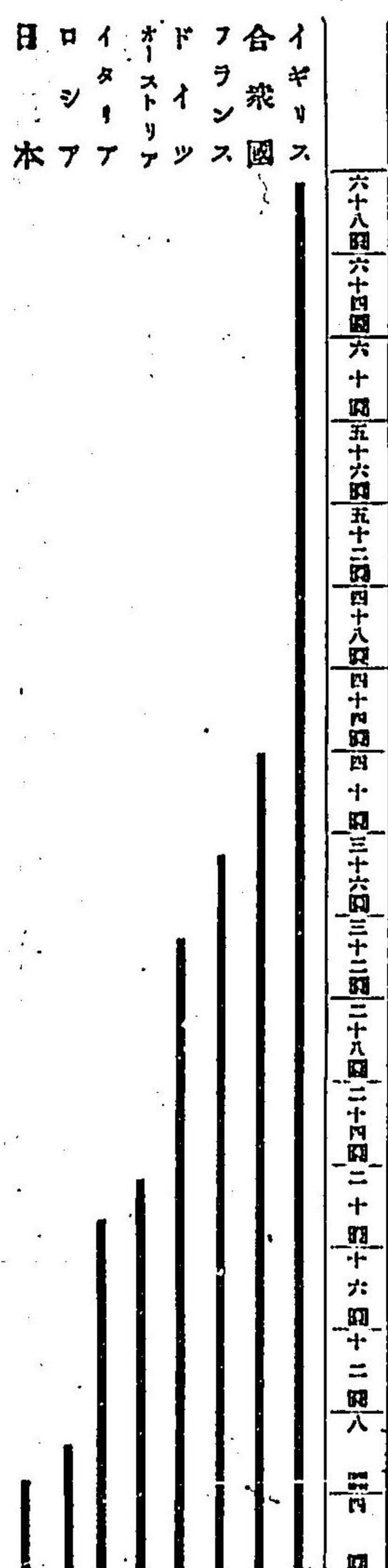


獨り國富及び人口一に對する國富の割合の最下位にあるのみならず、國民の生産力も亦最下位にあり、即ち

輸出

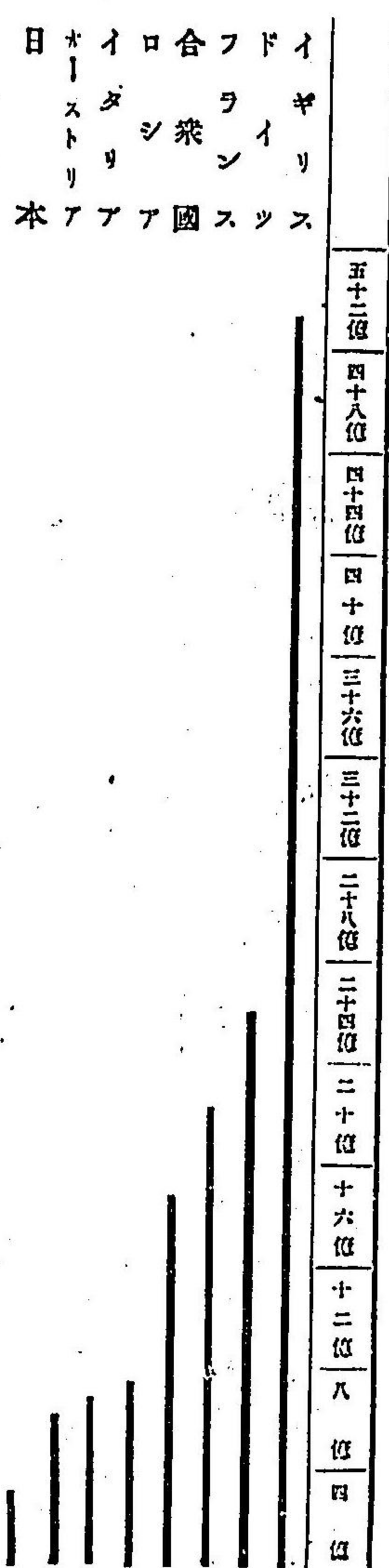


人口一ニ對スル輸出

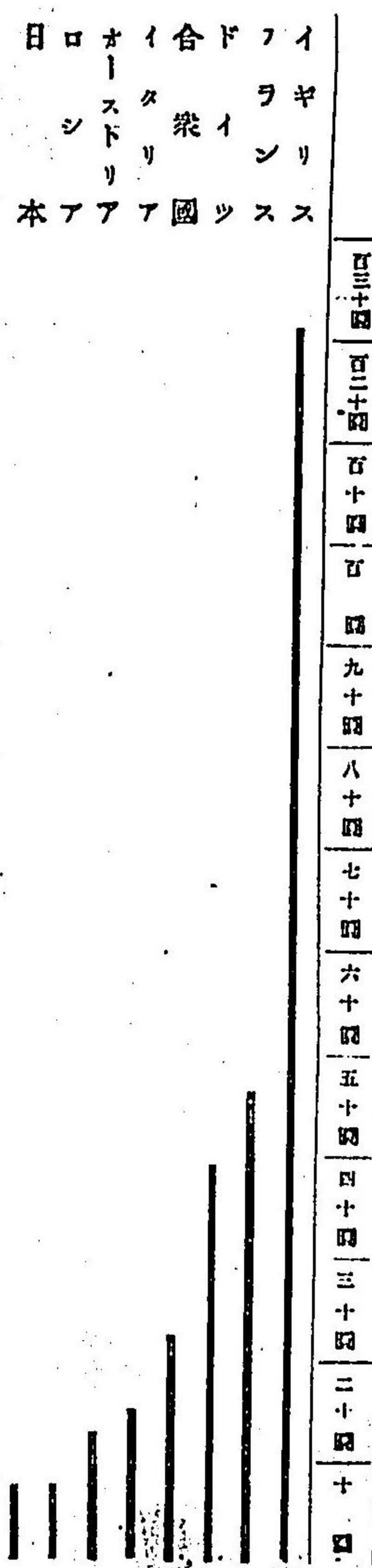


輸出既に以上の如く最下位にあり、顧みて輸入如何と見れば亦た最下位にあるなり、即ち

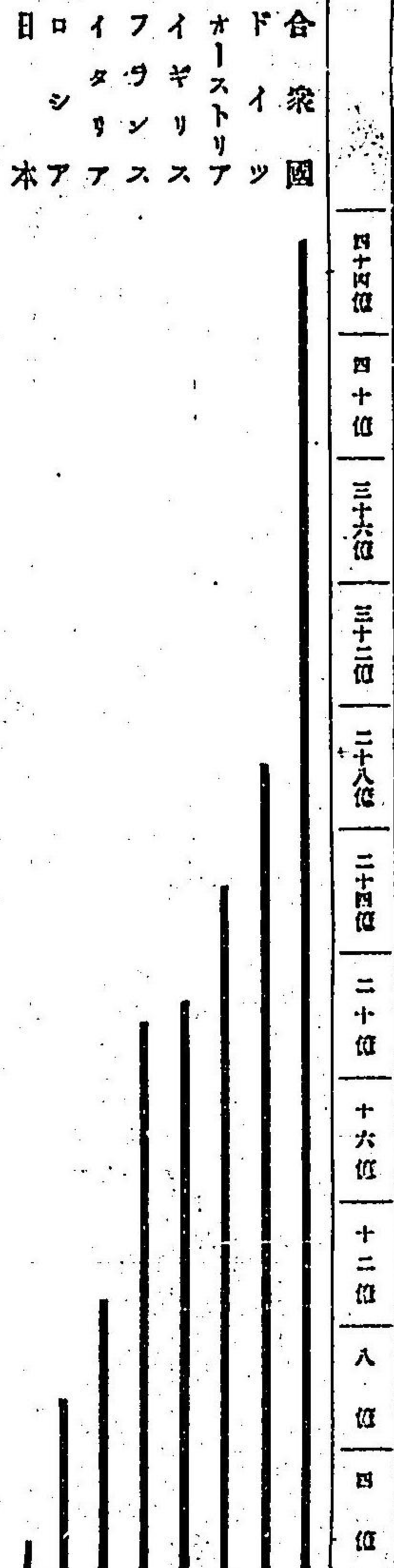
輸入



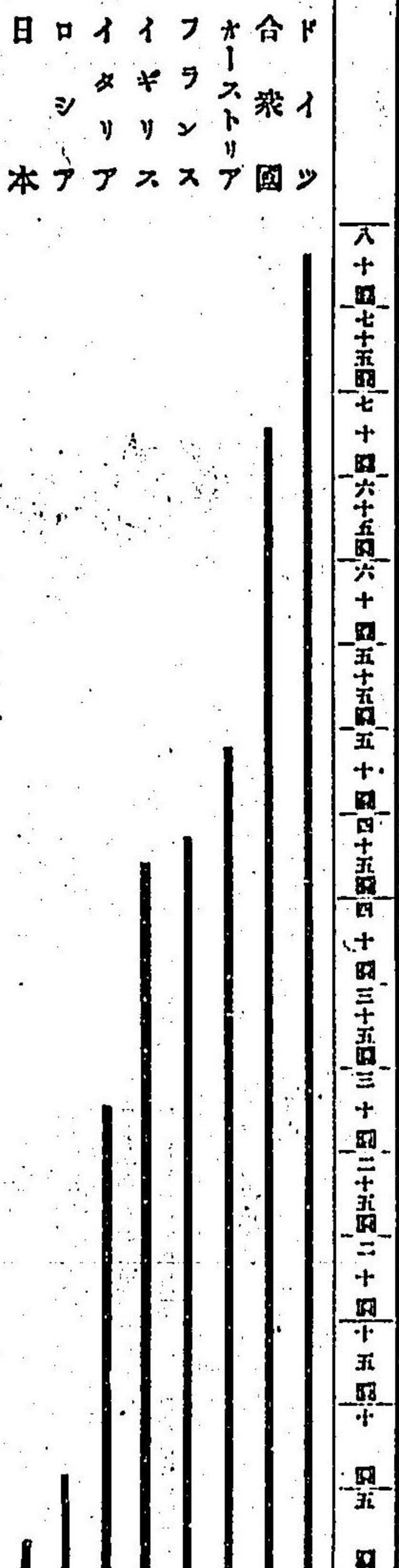
人口一ニ對スル輸入



貯蓄



人口一ニ對スル貯蓄



國民たるもの、世界の恩惠盡く我國に集まり、而かも國勢の最下位にあるを顧みれば、豈に奮ふ所なかるべけんや。

8/4/37

第六 章

明治三十六年四月七日印  
 明治三十六年四月十日發  
 明治三十七年一月十五日訂正再版印刷  
 明治三十七年一月十八日訂正再版發行

地理教科書本邦編典附

定價金六十五錢

著者

志賀重昂

發行者

東京市神田區裏神保町九番地  
 合資會社 富山房

代表者

合資會社富山房社長  
 坂本嘉治馬

印刷者

東京市神田區三河町一丁目十四番地  
 石井要藏

印刷所

東京市神田區三河町一丁目十四番地  
 合資會社 丸利商會

著作權所有

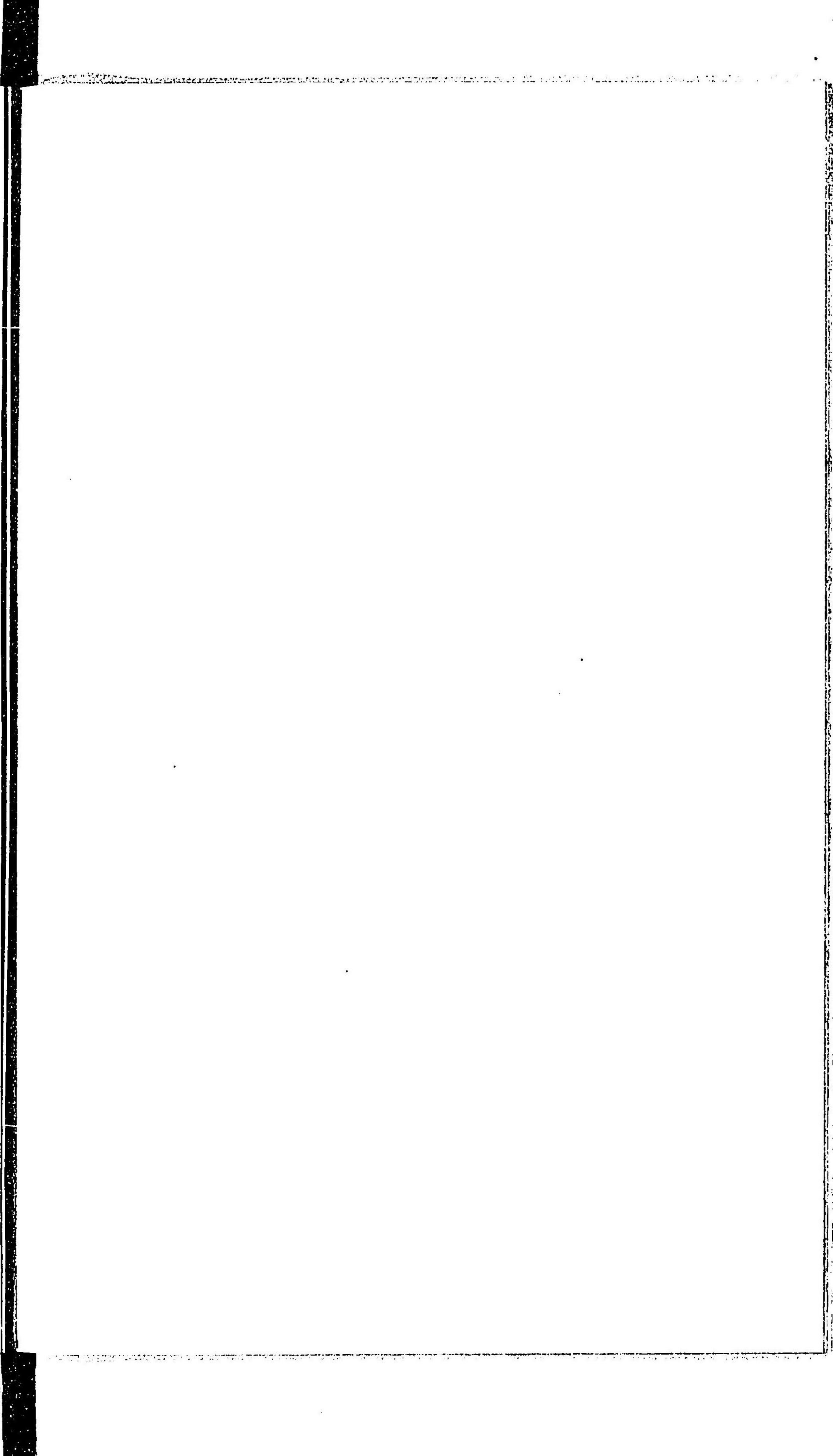
發兌元

(二十九年六月設立)

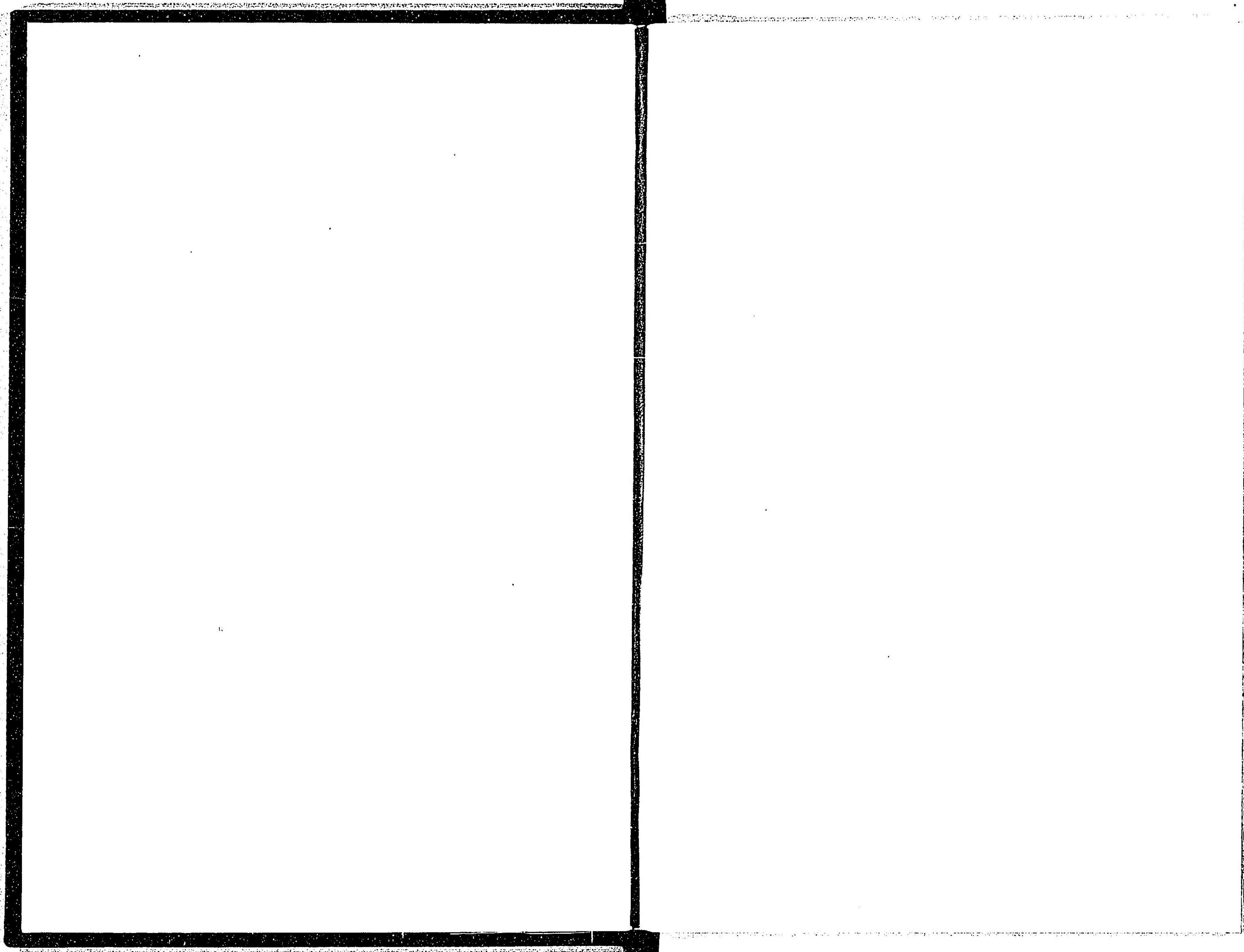
合資會社 富山房

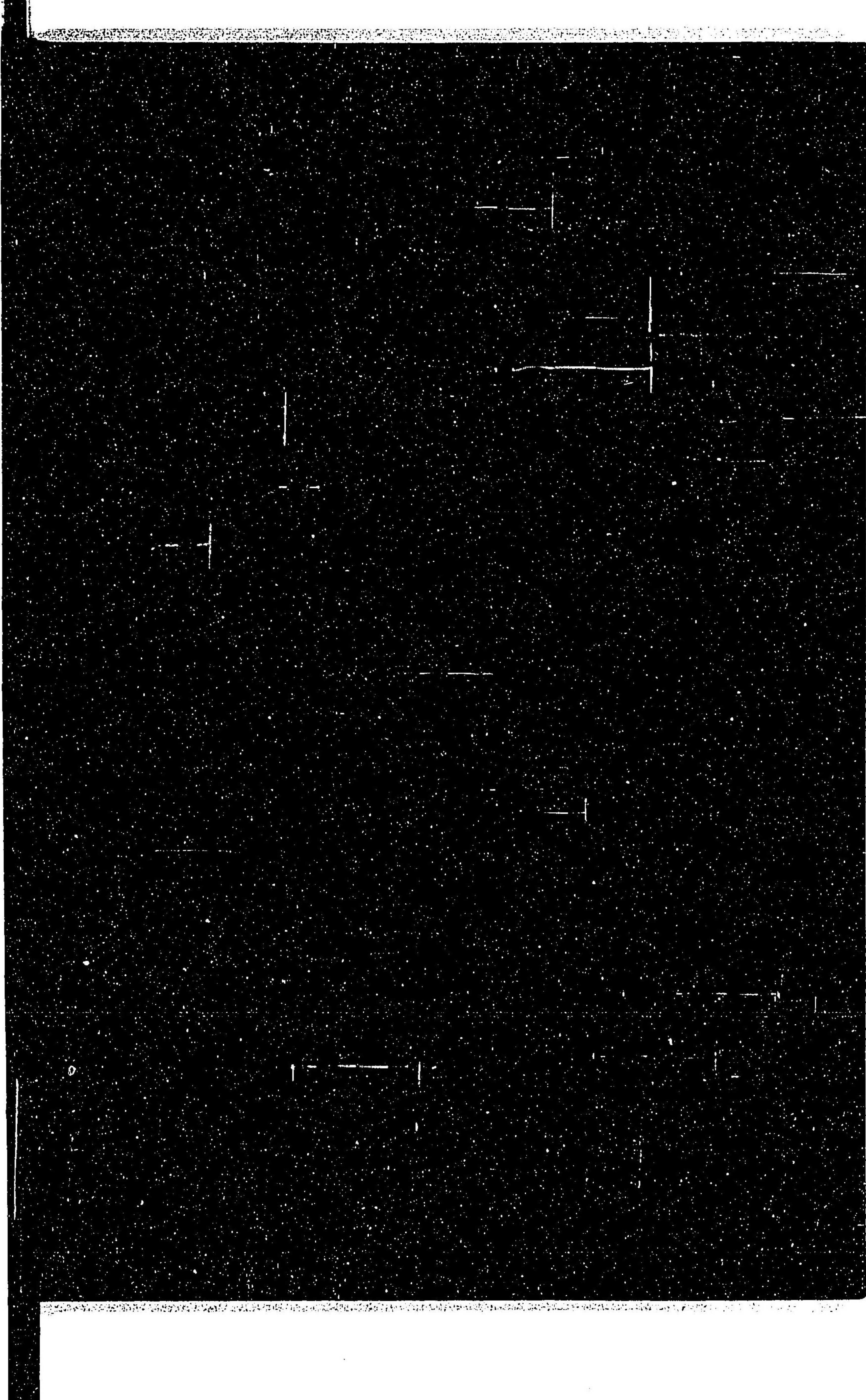
長距離(電話本司)電報(ヤマフ)  
 加入(一〇三六番)電報(ヤマフ)











77  
359

022147-001-6

77-359

地理教科書

志賀 重昂/著

M37

ADA-0552

